

日 本 空 軍 隊 に 激 増  
知 事 官 署  
水 曜 日  
三 月 十 七 日  
第 一 七 三 号

日本空軍隊に激増

ドイツとオロの爆撃  
濠洲国民異常なる緊張  
濠洲マラーサ本營所は報十六日午後  
に據れば数週間無抵抗のやうであつた  
日本空軍は近頃激しく南太平洋上に  
進んだマラーサのミミエは日空軍は  
六十四台にて濠洲北岸軍港ドーソン  
とニューギニア島オローバーとを爆撃し  
日本空軍は十九台と損傷したと報じた  
又濠洲当局は連日欠かさず日空軍の  
進寇を十餘日間国民に報告せしめ  
たが今次の空軍の進寇はその一部で  
あらうと観測せる

日本艦隊撃沈総数

日本艦隊以来三三六隻  
華府十六日ロPは日本駆逐艦を含む  
四隻の船を潜水艦で撃沈したことを  
報じたが南太平洋戦に於て潜水艦  
の爲に沈没せし日本船艦は右を加へ  
合計百三十七隻その他パールハーバ  
開戦以

表の大合計は三百十六隻に達したと登  
表した

赤露軍右翼優勢

カーコフ方面は敗戦  
又モレンスタフ方面に於けるセモレンコ軍は  
三十二都区を奪還してベリットの南一  
圓を平定した現在の所ではヒアスマ  
ビオレルまで三角圏を赤軍が占  
取した姿である然しカーコフ方面は独  
逸勢益々強く今朝又も赤露軍  
は二十五哩ポストフ方面へ後退した

軍役志願者僅少

アルカンソー州ハットスプリング十六日祭  
際際通信一ローワーゼコム西日本人コ  
セントレーンキャンパ収容者一万余  
人中にて只二十六人のみ軍役入りを志願  
したと本晩ハットスプリングに於て上院  
議員セルムスターレーンモンタナ送民  
議員は語つたモトレーは近頃キャン  
を視察した人である氏は又曰く所謂  
市民と称する此の國に生れたる者其  
は大なる機会を與へられてゐるにも拘  
らずパールハーバウアー艦隊撃沈の日本の奸  
詐を非難した者は無かつた

昨曉の防空演習

加州沿岸三十分間

ラジオの中止はしなかつたけれども昨曉  
は四雅府から桑港へかけて三十分間  
防空演習を試みたが沿岸国防軍  
は発表した午前一時三十分開始  
二時に了つた成績悪しからずと不安  
眠中のサイレンで住民は戦国気分を  
満喫した

独逸しホート対策

英米及加露陸軍謀議  
華府十六日国際通信は華府に  
於ける英米及加露陸軍三國の謀  
会議の目的を公表したが今次は  
西洋に於ける独逸しホート対策で  
あったアノストキング提督が米  
國を代表して司会し目下米訪中の  
英米西國各謀議が鴨首協議  
した結果いよく南米沿岸より阿  
非利加及歐洲西部沿岸の敵潜  
水艦退治にとりかゝるといふ

ストラボロ候言明

戦後の社会的施設案内容  
一時は英内閣を動揺せしめんとした  
ビーバレー候のソレアルセキエリヤ案  
も大標榜働党の了解を得て鎮靜  
したがストラボロ候は聯合國が協  
定して之を戦後に実施して人類の生活

安定を期するは勿論であるが英國人  
の生活安定は英國政府が直接の関  
係を有するが故に先づ英國を主として  
英國第一主義を志してはならぬと言  
明して内外の耳目を聳身しめた

三軍号披露尺八演会

車轉者が三軍号の免許を受けたので  
その披露演奏会が昨夜七時半  
から十二中隊會堂で二時か  
曲目左の如し  
茶の湯音頭(谷美)連管  
琴古流(曲三谷)管垣  
殊月(命)美  
琴古流(曲)鶴の巣籠(連管)

傳道集會

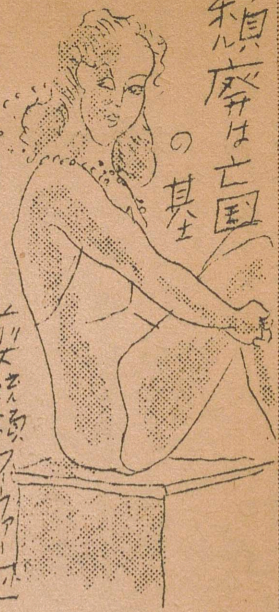
十七日午後七時華中隊社交室  
司會者 渡辺 牧師  
講演者 和田 牧師  
日本に於ける信仰の美談  
和田牧師は近日中クリスチャン  
と稱する者

十病院より

尾立金尾(尾立)  
入院 北村中太郎(滋賀)  
退院 服部三郎(愛知)  
田中重之助(山形)  
助川美太郎(岩城)

175

頤廢は亡國の基



上野文藝館より

デモイン十五日発し、前大統領、バートトフヴァーは本日中西部知事、候議会に於て頤廢の力を論じ、佛、蘭西の破壊せるは頤廢の力であり、今や米國を内にも之が現れ、政府の價格統制法は食料の生産を抑制してありと演説した。二十五年前の戦争の時とは異つて、今度は我が米國に頤廢の力が働いてゐる。此の頤廢の力は歐洲に取つて災難であつた通り、今日米國に不穩の氣を漂はせてゐる。歐洲には不當の人力を農地から引上げたが、同じ事を米國でもやつてゐる。近頃全國農事奉仕團の調査に依れば、人力減少の爲に本年の耕作英加教の減少を見込める者七十八セント、又植付の減少十一セントと見込む者五十八セントである。而して収獲には植付よりも多くの人力を要す。牧畜の方も同じく急を告げ、なる云々。又曰く一九一八年の食料不足の故を以て、独逸帝國は俄かに崩

れた。而して一九一七年に佛、蘭西が崩壊しかけた其原因も矢張り食料不足であつた。之は米國が参戦したので、崩壊を取止めたケレンスキー政府の崩壊も、今度の戦争に佛、蘭西が仆れたのも同じく食料不足の爲である。是等の國々は餘り多くの人力を農園から引揚げた。彼等の指導者は人力を引揚げて、之に代つて婦人、児童、無經驗の町の人を以てせば、差支なしと言つたが、實地には差支へた農具製造所が軍器製造工場になり、且つ充分なる代用が行はれた。肥料は爆弾に代はり、漁業は海の危険と海員の徴収の爲に制限された。

No. 49 TO A CHILD  
 (1) Thank you for your nice letter of March 10 which I received the day before yesterday. (2) I am glad to hear that everybody at home is well and is doing fine. (3) I am relieved to hear that you are still helping out mother in looking after the family. (4) Ever since I was arrested, you have been managing all home affairs in my place. (5) I am deeply grateful to you for all you are doing in my place. (6) I can live without worry because of you. (7) I am sure mother is depending on you for everything. (8) Nothing makes me happier than to think that you are taking the responsibility of home. Mother will feel secure to have you near her. (9) Please consult mother in all matters and carry on in my absence.

植付は効果減じ、収獲は少なくなつた云々。又曰く戦時食料計画に五欠ある。一、戦前は食料過剰を止めた。二、潜水艦の半ば閉鎖により輸入打切。三、食料品中穀類のみは過剰なるも之を戦の進むに従つて。四、戦時酒類製造や必要なる飼料等、で急に消費される。故竹原竹雄士、蘇儀に際し、多大の御同情を辱し、誠に推有。存中候。各儀なら、祇之を以て。仰礼申上。依。三月十七日。喪主代、清水喜代英。

我が子へ (四九)  
 三月十日附の手紙一昨日受取つた有難う。三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

- 春季彼岸朝詣  
 三月十八日より二十四日まで、毎朝八時半、第十中隊食堂にて、勤行十二禮、法話十八日、彼岸の信仰、増永大見師、十九日、信仰の生活、藤永覚眠師、二十日、無義の信仰、山本義弘師、二十一日、無言の信仰、前原晃朗師、二十二日、佛敎の特色、島川秀雄師、二十三日、すくすく、桑月文方師、二十四日、自然法爾、赤星貞牙師
- 柔道々場開始  
 今回諸校の準備整は、宗教堂の裏のバラック内に於て、柔道々場を開始する。こととなり、本日より、練習を始め、爲すこととなつた。従前古は朝昼晩、何時にても、やるから、希望者は、第十中隊、第三十、六、祭の高橋精造氏まで申出され
- 野球試合  
 来る十九日午後一時半、第九中隊、野球場にて、クリスタルレター行組対、スター組との野球試合をやり、ます
- 四約聖書研究會  
 出張及記、講師、鎌江牧師、十八日午前九時半、於、宗教堂
- 遺失  
 何人か約三週前に、第九中隊、野球場へ、遺失された、ヤケツ一枚、目下、新南社に残り、居ル、心當り、同社へ